



PORSCHE



新型マカン

プレスキット

目次

ハイライト	3
要約	
完全なネットワーキング、新しいデザイン、そしてより多くの装備を備えたサクセスモデル	4
エンジンとパフォーマンス	
俊敏性と効率性	6
シャシーとシャシーシステム	
シャシーを新たにチューニングし走行ダイナミクスが改善	9
デザインと装備	
スポーツカーのDNAをもつ独自の外観	11
アシスタンスシステムとコンフォートシステム	
さらなるサポートをドライバーに	16

ハイライト

スポーツカーのセグメント

新型マカンは、新しいハイパフォーマンスで効率的なドライブおよび最適化されたシャシーにより、スポーツカーセグメントとしてその特別なステータスを確立しています。

ポルシェデザインDNA

例えば新しいLEDリアライトストリップなど、エクステリアの要所に施されたデザインが、マカンの外観をポルシェデザインDNAで未来へ導きます。

完全なネットワーキング

マカンは10.9インチタッチディスプレイを備えるその新しいポルシェ コミュニケーション マネージメントにより、包括的なコネクティビティと新しいデジタル機能を提供します。

さらなる支援と快適性

ポルシェはマカンにおいて、トラフィックジャムアシスト、イオナイザー、ヒートッドフロントスクリーン、GTスポーツステアリングホイールのような新しいオプションをもって、コンフォートおよびアシスタンスシステムを拡充しました。

ハイグレードなインプレッション

新しいハイグレードなカラーと完璧に加工されたマテリアルにより、新型マカンは高い品質基準を追求し、安定した価値を体現しています。

要約

完全なネットワーキング、新しいデザイン、そしてより多くの装備を備えたサクセスモデル

ポルシェはマカンのデザイン、快適性、コネクティビティ、走行ダイナミクスを包括的にアップグレードさせました。これによりマカンはスポーツカーの看板車であり続けます。ポルシェデザインDNAを受け継ぐこのコンパクトなSUVには、立体的にデザインされたLEDリアライトストリップが新装備されています。LEDテクノロジーは将来的にはヘッドライトにおいても標準となる予定です。内装における新しい際立った特徴としては、新しいポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の10.9インチタッチディスプレイ、新たに配置および設計されたベンチレーションノズル、そして911で知られているオプションのGTスポーツステアリングホイールがあります。PCMは、インテリジェントな音声コントロールや標準仕様のオンラインナビゲーションといった、新しいデジタル機能へのアクセスを可能にします。コンフォート装備はとりわけトラフィックジャムアシスト、イオナイザー、ヒートッドフロントスクリーン等によって拡充されました。

市場投入にあたり2種類のエンジンが提供されます:マカンはターボチャージャーを備え、より進化した2リッターの4気筒エンジンを搭載しています。エンジンは出力180 kW (245 PS)、最大トルク370 Nmです。マカンSは、総排気量3リッターでセンターターボレイアウトのツインスクロールターボを備えた新しいV6エンジンで駆動されます。エンジンは出力260 kW (354 PS)、最大トルク480 Nmです。7速ポルシェ ドッペルクップリング・トランスミッションPDKと WDシステムPTMは新しいエンジンと完璧に調和しています。両方の新型マカンモデルにガソリン微粒子フィルターが装備されており、排出基準Euro 6d-TEMPを満たします。

走行ダイナミクスがマカンのコアコンピタンスであることに変わりはありません。改良されたシャシーは、一貫した安定性と向上した快適性によりニュートラルさを増し、運転の楽しみを増幅させます。新型マカンには再び、そのセグメントでは珍しいミックスタイヤが装備されています。ポルシェスポーツカーと同様、それによりインテリジェントなPTM WDシステムのメリットが走行ダイナミクスの観点において最適に発揮されます。新開発されたタイヤは向上したパフォーマンス特性を持ち、より優れた横方向ダイナミクスを可能にします。

新しいポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) により、マカンはポルシェのデジタルワールドのあらゆるオプションにアクセスすることができます。フルHDタッチスクリーンは以前の7.2インチから10.9インチへと大きくなりました。ユーザインタフェースはパナメーラとカイエン同様、あらかじめ設定されているタイル表示を用いて個別に構成されます。標準で完全にネットワーキングされている新しいシステムには、改良されたオンラインナビゲーションとポルシェ・コネクトプラスが含まれます。ここで特に中心的な役割を担うのが、ナビゲーション関連の「ヒア・クラウド」への接続です。これによりドライバーは常に最新のオンラインデータを入手し、素早くルート計算をすることができます。その他のサービスと機能には、FMラジオ、デジタルラジオ、オンラインラジオの自動切替ができるオンラインラジオ、インテリジエントな音声コントロールであるボイスパイロット、リモート機能そして安全および緊急サービスがあります。ポルシェ・コネクトアプリとポルシェ・カー・コネクトアプリにより、ドライバーはスマートフォンを通じてマカンと通信可能です。さらにオフロードプレジジョンアプリにより、マカンでのオフロード体験をよりエモーショナルに構成して記録できます。

新型マカンでは、高度なアシスタンスシステムを持つ拡張オプションを選択することができます。911への架け橋として、新型マカンのインテリアにはオプションのGTスポーツステアリングホイールがあります。さらにオプションのスポーツクロノパッケージの一部として、ステアリングホイールと一体化したスポーツレスポンススイッチを含むモードスイッチがマカンに含まれています。新しいトラフィックジャムアシストは、アダプティブクルーズコントロールに基づき時速65 kmの速度範囲でのリラックスした運転を可能にします。新しいシステムは適切なステアリング介入によりマカンをレーンにキープします。

エンジンとパフォーマンス

俊敏性と効率性

新型マカンは大幅に改良されたドライブを提供します。ポルシェはマカンSに新たに開発されたV型6気筒を投入しました。総排気量3リッターのターボ搭載エンジンは出力260 kW (354 PS)、最大トルク480 Nmです。これは先行モデルと比較して10 kW (14 PS) 向上したことになります。これにより停止状態から100 km/hまでの加速時間が0.1秒短縮されて5.1秒になり、最高速度は254 km/hに達しました。

マカンのボンネットの下では、さらに進化した総排気量2リッターの4気筒ターボエンジンが作動します。マカンは出力180 kW (245 PS)、最大トルク370 Nmです。マカンは6.7秒で0 km/hから100 km/hまで加速し、最高速度は225 km/hに達します。新しいガソリンエンジンにはヨーロッパではガソリン微粒子フィルターが取り付けられており、排出基準Euro 6d-TEMPを満たします。

センターターボレイアウトの新しいV6エンジン

マカンSの6気筒はハイテクノロジーエンジンです:このエンジンはまずパナメーラで初めて搭載され、続いてカイエン、そして今回マカンに採用されました。際立つ特徴:モノスクロール・ターボチャージャーはV字ゾーンの内側に配置され、センターターボレイアウトと呼ばれます。燃焼室とターボチャージャーとの間にある排気流路が短いことにより、レスポンスが特に俊敏になり、ダイナミックなドライビングスタイルが可能になります。

新しいツインスクロール・ターボチャージャーは低回転域での高トルクを可能にします。それと同時にツインスクロール・ターボチャージャーはより良いレスポンスにも貢献します。ツインスクロールテクノロジーでは排気流はタービンホイールを通して分離して供給されます。それによりチャージサイクルのデメリットが大幅に低減されます。中央にインジェクターを備えるさらに進化した燃焼室の設計により混合気形成が効率的になりました。リッターあたり出力が113 PSから118 PSに増加したことに加え、排出ガスも改善されました。1ストロークあたり最大3回の噴射により燃焼が最適化され、排出ガス中の有害物質率が減少しました。

V型エンジンのシリンダーヘッドの両方には一体的に構成されたエキゾーストマニホールドが設けられています。重量低減とパーツ削減に加えて、この設計にはエキゾーストマニホールドを冷気回路と一体化できるという利点があります。これにより高負荷での効率性が向上し、燃料消費が減少しました。

最適化された直列4気筒

マカンの直列4気筒はスポーツ性が強調された効率的なエンジンとして設計されており、1 barの最大過給圧、インタークーリング、ガソリン直噴、可変バルブタイミングを備えます。バリオカムプラスはインテークおよびエグゾーストカムシャフトを継続的に調節し、さらには排気弁のリフトを制御します。また燃焼室の形状が改良されたことにより、マカンは世界で規定されている排出ガス基準値を下回ります。ヨーロッパでは、微粒子フィルターとの組み合わせによる定格出力は185 kW (252 PS) から180 kW (245 PS) へとごくわずかに低下したにすぎません。4気筒エンジンの排出ガスシステムにはガソリン微粒子フィルター(OPF)が設けられ、6気筒エンジンにおいては2つのフィルターが設置されています。排出ガスは触媒の後に交互に閉じられた通気孔を通して、微粒子フィルターの壁を通過します。再生が能動方式および受動方式で行われるフィルターは、メンテナンスフリーかつ車両よりも長寿命で設計されています。エンジンの熱マネジメントは、必要に応じた冷却ポンプ制御によりさらに最適化されました。このようにして、エンジンと触媒はさらに素早く最適な動作温度に到達することができます。

俊敏な出力展開はマカンの主要機能の1つです。新しいエンジンのポテンシャルを最大限に引き出すためポルシェ ドッペルクップリング・トランスミッション(PDK)が新たに採用されました。スポーツモードではトランスミッションがより俊敏に反応し、非常に素早いシフトチェンジが可能になりました。ノーマルモードではPDKが迅速かつ快適に上段に切り替わります。これにより燃料を節減し、長距離運転における快適性を高めます。アダプティブクルーズコントロール(ACC)が改良されたPDKに組み合わせられたことで、運転中の燃料消費をさらに低減させるセーリングモードが可能になりました。効率性向上にさらに貢献したのは、最適化されたオートスタート/ストップ機能です。これにより信号機に近づくとエンジンが停止します。スポーツおよびスポーツプラスの走行モードでは、オートスタート/ストップ機能は自動的に解除されます。

新登場：モードスイッチ付きスポーツクロノパッケージ

スポーツクロノパッケージは、マカンにおいてもステアリングホイールと一体化したモードスイッチにより操作されます。ノーマル、スポーツ、スポーツプラスの走行モードに加え、パーソナルモードが選択可能です。ここでドライバーは個人設定を保存し、モードスイッチを操作して直接呼び出すことができます。モードスイッチ中央のスポーツレスポンスボタンを20秒間押すことで、ドライバーはマカンのレスポンスを鋭敏にし、即時に最大のパフォーマンスを得ることができます。コンパクトSUVのスポーツカーはアクセルペダルのコマンドを非常に俊敏に実行し、迅速に最適な加速値に到達します。スポーツレスポンス機能は任意に呼び出すことができます。

オプションのスポーツクロノパッケージに関して、ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) はさらに個別に切替可能なPSMスポーツモードを提供します。この特にスポーティなチューニングにより、野心的なドライバーはさらにマカンの限界領域に進むことができます。この際PSMはバックグラウンドで常にアクティブとなっております。PSMスポーツモードは走行モードとは無関係に切り換えることができます。

シャシーとシャシーシステム

シャシーを新たにチューニングし走行ダイナミクスが改善

マカンはコンパクトなSUV部門スポーツカーの看板車です。マカンがこの地位にあるのは、とりわけ、スポーツカーに典型的なシャシーのおかげで、比類ない横方向のダイナミクスを実現しながら普段の快適性をおろそかにすることはありません。モデルをアップグレードさせるべく、シャシーのエンジニアたちはさらなる最適化のポテンシャルを探るためシャシーの各部品を点検しています。委曲を尽くした改善点と新しい完璧なチューニングによって、マカンはスポーティーの基準をさらなる高みへと引き上げました。

フロントアクスルには、アルミニウム製スプリングフォークが以前のスチール製の部品に取って換わりました。ドライブシャフト上に延在するスプリングフォークは、スプリングおよびショックアブソーバーをフロントアスクルキャリアと接続します。新しい軽合金製の構成は剛性がさらに高く、ばね下重量は約1.5 Kg減少しました。その結果:マカンはさらに高精度の操縦とさらに快適な弾性を提供しています。最適化されたローリングピストンおよび新しい油圧式ショックアブソーバーのおかげで、オプションのエアサスペンションのばね特性も改善されました。

新たにチューニングされたスタビライザーによりばね特性が改善されました。走行特性がニュートラルになるようコーナリングフォースが設計されており、マカンの走り心地はさらにスポーツカーに近づきます。また新コンセプトには、フロントアクスルのリム領域に2分の1インチだけ拡大したリム幅を有する19インチと21インチのホイールも含まれています。これによりタイヤはさらに高精度で操縦され、ステアリング動作が改善されます。すべてのタイヤは新しく、特別にマカンの駆動特性のために設計された世代に由来しています。車輪径は18～21インチです。ミックスタイヤのサイズは、フロントアクスルでは235/60 R 18から265/40 R 21、リアアクスルでは255/55 R 18から295/35 R 21の間となっています。

これまでどおりオプションでは、走行ダイナミクスを向上させるためのアクティブダンパーコントロールPASM、高さ調節可能なエアサスペンション、およびポルシェトルクベクトリングプラス(PTV Plus)が選択できます。

精確な圧力点を備える進化したブレーキ

多くの綿密な仕事は新型マカンのブレーキには隠されています。ドライバーはとりわけペダル感覚の変化に気付くものです。ドライバーが踏み込むのはいわゆるオルガノシートペダルで、これはプラスチック製のリブ構造をバック射出で成形したガラス繊維強化熱可塑性シート材からなります。このペダルは以前のスチール製部品よりも約300 g軽く、短くなったレバーアームでマスターシリンダーに作用します。これによりブレーキが俊敏に反応するだけでなく、その確実な接続によりドライバーはプレッシャポイントを非常に正確に感じ取ることができます。とりわけ、熱心なスポーツ車のドライバーは最適化された応答性を評価するでしょう。新型マカンのさらにスポーティーな部品は、Sモデルでは大きくなったフロントブレーキディスクです。フロントブレーキディスクの直径は10 mm大きくなって360 mmに、ディスク厚さは2 mm増加して36 mmになりました。新しいブレーキパッドはすべて銅が含まれていません。マカンSにはオプションでセラミックコンポジット ブレーキPCCBが装備可能です。

新しいエンジンマウントにいわゆる走行ダイナミクスサポートが装備されたことで、エンジンとシャシーの接続がさらに改善されました。こうして、負荷がかかった状態でのエンジンの揺れはマウント内でより強く抑制されます。このことはカーブでの走行特性に影響を与えます。ステアリング動作はさらにダイレクトで俊敏になります。ドライバーがカーブの出口で加速する場合、エンジン自身の動きが走行特性に与える影響は顕著に小さくなります。マカンはレーン内でさらに安定し、ホイール外側のコーナリングフォースをさらにコントロールしつつ使うことができます。

デザインと装備

スポーツカーのDNAをもつ独自の外観

マカンは刻み込まれたスポーツカーの遺伝子をオールラウンドな特性と結びつけます。このポルシェに典型的な広がり、モデルのアップグレードによりさらに拡大され、さらに進化したスタイリングを印象付けます。この流線型のデザインにより新型マカンはさらに個性的になり、自負をもって登場します。数多くのディテールにおいて、スポーツカーのアイコンである911と技術の粋を集めた918のDNAが反映されています。フロントおよびリア部分の水平ラインがさらに大きく強調されることで、スポーツカーの特徴が強調されます。内装で特徴的なのは、フルHD解像度のポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の新しい10.9インチタッチディスプレイです。タッチディスプレイはダッシュパネルと調和して一体化されており、インテリアは大幅にアップグレードされています。

改善された視界：標準仕様のLEDヘッドライト

マカンのフロントは大幅に再設計されました。ブランドのロゴは、コンパクトなSUVにその流れるようなシルエットを与えているエンジンボンネットの側方に広がる部分に位置します。LEDテクノロジーによるヘッドライトが完全に新たに装備されました。日光にあたると、3次元のライトモジュールの彫像的なヘッドライト内部がきらめきをまといます。これにより、マカンの未来のライトテクノロジーが視覚的に表現されています。LEDヘッドライトは中央に位置し、さらに4つのLEDモジュールに支援される、25 Wattのすれ違い用前照灯および走行用前照灯のLEDモジュールからなります。中央モジュールのまわりに配置された4つの正方形のLEDユニットはポルシェに典型的な4灯式デイタイム ランニングライトを構成します。さらに、4つの正方形のLEDユニットは、車両すぐ前の車道を最適に照らして中央のLEDユニットを支援します。中央のユニットの下方には、走行用前照灯による照射を向上させるLEDユニットが設けられています。ライトシステムは2つのオプションレベルでさらに最適化することができます。ポルシェ ダイナミック ライトシステム (PDLS) を備えるLEDヘッドライトは出力35 Wattで、さらにカーブライトを有し、自動点灯および自動消灯が可能です。加えてPDLS PLUSはヘッドライトレンジを無段階で調整し、さらにジャンクションライトを含みます。

新型マカンのフロントエンドは側方のエアインテークの直線により幅広く見えます。この効果は、その機能がヘッドライトのLEDライトテクノロジーにより取って代わられたフォグライトがなくなったことで明らかです。新たに装備されたフロントライトは幅広くみせる、さらなるパーツを含んでいます。フロ

ントライトはエアインテークの縁部から冷氣口へと移動し、そこでまさに漂い動いているように見えます。フロントライト下部の駐車センサーは目立たずに空気力学的に最適化されたエアブレードに組み込まれています。

マカンの外観は側方でも新しくなりました。新設計の最大21インチの軽合金製ホイールがオプションで選択可能です。さらに、サイドブレードはブリリアントシルバーまたは光沢のあるブラックで注文可能です。

ブランドアイデンティティを示すLEDリアライトストリップ

含まれているリアの新設計は、先行モデルのクリアなデザインに基づいています。3部分からなり3D設計されたLEDライトストリップにより、ポルシェ特有のデザイン性が加わりました。これはは両方のリアライトを互いに連結します。ライトストリップには3次元構成された「PORSCHE」のレタリングが配置されています。リアリッドのテールライトの輪郭における新設計は車両をグラフィカルにみせ、高さをぼかし、幅を強調します。光が強調される位置はさらに低く、向上した走行ダイナミクスのさらなる様式的な指標です。さらに、4灯式ブレーキライトはブランドアイデンティティを反映しています。エグゾーストシステムのツインテールパイプはリアロアセクションと調和し、ダイナミックに下向きに終端しています。

新しいPCMを備えたハイグレードなインテリアと幅広効果

強化されたマカンのインテリアでは、スポーツカー人間工学、デジタル化および快適さが、調和のとれた統一性を形成しています。直径360 mm、レザーまたはアルカンタラ®張りが施されたオプションのGTスポーツステアリングホイールは、911から受け継がれました。また、918スパイダーのDNAが新型マカんに再びみられます。オプションのスポーツクロノパッケージのスポーツレスポンスボタンを備えたモードスイッチはもともとはスーパースポーツカーに由来します。

ポルシェに典型的な上り勾配のセンターコンソールの上方には、ポルシェ コミュニケーション マネージメントの新しい10.9インチのフルHDタッチディスプレイが調和してはめ込まれています。この新しいインターフェースのおかげで、ディスプレイ領域の押しボタンの数を減らすことができました。ベンチレーションノズルは合金製の留め金でアップグレードされ、新しいPCMの下方で水平方向にセンターコンソールに組み込まれています。これによりダッシュボードはさらに幅広で平らに見えます。

新型マカンにはすでに標準仕様で特にハイグレードな装備の特徴があります。例えばシートはアルカンターラ®で、シートサイド部はハイグレードな合成皮革で仕上げられています。ステアリングホイール、ギアレバー、アームレストにはレザーカバーが施されています。希望により、その他のレザーインテリアも複数色で利用可能です。ポルシェ・エクスクルーシブ・マヌファクトゥアがレザー装備をさらにパーソナライズしてくれます。

マカンはそれぞれ標準で抗アレルギーコーティングを備えた粒子／花粉フィルターを装備しています。オプションのイオナイザーはさらに流れる空気の質を改善します。そのために、クライメートコントロールの空気は車内に流れ込む前にイオナイザーに導入されます。これにより、含まれる細菌数およびその他の有害物質を減少させます。車内のエアクオリティが改善されることで、快適性の向上につながります。イオナイザーはセンターコンソールの別個の押しボタンから操作できます。

拡大されたタッチスクリーンを備える新しいPCMとポルシェ・コネクトプラス

新型マカンは標準仕様で完全にネットワーキングされています。機能が拡張されたポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) は、7.2インチから10.9インチへと大きくなった、新しいユーザーインターフェースを備えるタッチスクリーンを介して、インターネットを利用した機能およびサービスへのコンスタントなアクセスを提供します。さらに、ポルシェは新型マカンには原則的にコネクトプラスモジュールを備えています。すでに標準仕様としてドライバーはオンラインナビゲーションを利用可能です。ホームスクリーンは、パナメーラとカイエンと同様に、あらかじめ設定されているタイル表示を用いて、簡単かつ迅速にパーソナライズ可能です。標準仕様のLTE通信モジュールは最適な音声品質とデータ接続を提供します。希望により、お客様のSIMカードを一体化されたカードリーダーを介して使用してデータを移行することともできます。

リアルタイム交通情報を備え、機能が拡張されたオンラインナビゲーションはさらに使いやすくなり、よりスピーディで内容豊かになっています。シンプルなナビゲーションの目的地設定はセントラル「ファインダー」をベースにしている、これはモニターのヘッダーにある虫眼鏡のアイコンをクリックすることによってアクセスできます。これによって、シンプルなキーワードで目的地を検索することが可能になりました。また、ファインダーはガソリン価格、利用可能な駐車場とその駐車料金および営業時間、

ホテルやレストランのカスタマーレビューなど、幅広い追加情報を提供します。

ナビゲーションの目的地を音声入力する機能も新しいボイスパイロットによって簡単に機能します。音声入力は、オンライン音声認識のおかげで、以前にも増してより直感的に利用することができます。例えば詳細な住所に言及しなくても、ナビゲーションの目的地を入力することが可能です。

さらに、ボイスパイロットで操作できるのはナビゲーション機能だけではありません。このシステムは音楽の操作や車両の機能に関するコマンドを理解します。システムをオンライン接続すれば音声認識がいつも最新状態になります。

ルート計算も最適化されています。そのバックグラウンドでは、オンボードとオンラインの入力の同時処理が行われています。そのため、ナビゲーションのルート案内はオンライン上とPCM内部の両方で実行されます。PCMは独立してどのナビゲーションが最適なルートを計算したかを決定する一方で、つねに最も早く計算された結果からスタートします。ドライバーが望めば、PCMは「パーソナル・ルート」機能を使用して4回以上走行した区間を保存し、それによりドライバーの想定される目的地を学習することで、ルート案内を最適化することができます。PCMだけではなく、スマートフォンからもポルシェ コネクトアプリまたはプラットフォーム「My Porsche」を利用して、ドライブを始める前に目的地を簡単に作成することができます。ポルシェIDを車両、アプリおよびウェブポータル「My Porsche」に入力すると、目的地が同期されます。

ナビゲーションシステムは新しいリスクレーダーサービスによっていわゆるスワームデータを処理します。交通と道路のコンディションに関するデータを匿名で取得し、同時に車両の関連機器から情報を送信します。車両のセンサーに基づいて、例えば霧や滑りやすい路面、事故などの警告を発します。このように新型マカンは危険を緩和し、事故の防止に貢献することができます。

ワンストップソリューション；アップルおよびアンドロイドスマートフォン用のポルシェ コネクトアプリ

再設計が施されたポルシェ コネクトアプリは、スマートフォンから車両やコネクト機能にアクセスするための環境をより簡単かつ幅広くドライバーに提供します。このアプリには、車両に関連する機能用の「ナビゲーション」、「My Vehicle」と、Amazon Musicアカウントにコネクトアプリをリンクさせるなど、ユーザーに関連するのサービスおよび設定用の「My Account」の3つの主要エリアがあります。「My

Vehicle] のエリアでドライバーは、例えば自身の車両を3方向から表した表示に基づいて、ドア、テールゲート、ウィンドウが閉まっているかどうかを確認することができ、必要に応じてドアの施錠・解錠を行うことができます。車両の航続距離、ガソリン残量、点検履歴の情報もここで呼び出すことができます。さらに監視機能やセーフティ機能も制御することができます。

また、Nestによるスマートホームデバイスのユーザーはいつでも車の中で自分の家の情報を得ることができます。このサービスでは、ネットワーク接続されている煙感知器のデータや設置されたカメラの映像をオンライン送信したり、車両の中から自宅の温度を調節することが可能です。

希望により、マカンでもオプションのスマートフォン用のトレーを備え付けることができます。電話を車両の外部アンテナと接続するのにケーブルを差し込む必要はありません。Bluetooth®を通じて接続されたスマートフォンがセンターコンソールのトレーに置かれるとすぐ、車両の外部アンテナとの接続が確立します。これによりスマートフォンの電池消費が低減され、受信品質が最適化されます。

オフロードプレジジョンアプリでオフロードをさらに楽しいものに

ポルシェは、オフロードプレジジョンアプリによって、マカンのドライバーに、オフロード走行の記録、評価、および向上の機会を提供します。「トリップ」セクションは、携帯電話の人気のランニングアプリと同様に機能します。記録を作動すると、ドライバー、車両、ルート、タイム、およびGPSデータの全ての関連データが自動的に収集されます。これによりルートと標高プロファイルを自動作成して、後で地図上に表示することができます。同時に、ドライブを動画として記録することが可能です。スマートフォンや外部制御のアクションカメラを使用して、動画に記録することも可能です。スマートフォンの「シェアリング」機能によって、トリップをSNSで共有することができます。アプリの「パーソナルプログレス」モードは、ドライバーのパフォーマンスをボーナスシステムで評価します。このアプリは、オフロード初心者にも、さらに、マカンでオフロード走行する方法をチュートリアルで説明し、十分な基礎知識を提供します。チュートリアルには、オフロードパークの概要が含まれます。オフロードパークにより、舗装道路から離れたオフロードの初体験をより安全な環境で楽しむことができます。iOSとAndroid用のオフロードプレジジョンアプリが用意されています。

アシスタンスシステムとコンフォートシステム

さらなるサポートをドライバーに

ポルシェはマカン用アシスタンスシステムを新たに拡張しました。ハイパフォーマンスのセンサーシステム、データ処理および画像処理により新しい機能が可能になりました。そしてトラフィックジャムアシスト用アダプティブクルーズコントロールの機能をさらに拡張することができました。

中央のエアインテーク中心に配置されたレーダーセンサーを用いて、間隔制御部は前方車両との距離をモニターし、これを自動で調整します。隣の車線から横切って入ってきた車両も認識されます。このシステムは、必要の範囲内で、前方車両に応じて停止状態になるまでブレーキをかけます。ストップアンドゴー機能のおかげで、車両はブレーキ後の停止状態から再び独自に発車することができます。停止状態が3秒以上続く場合、加速ペダルに短く触れるか制御レバーからリスタートするだけで、車両を発進させることができます。

トラフィックジャムアシストで車列走行を支援

追加されたトラフィックジャムアシストはストップアンドゴー機能を拡充し、ステアリングを支援します。最適化されたレーダーセンサーとビデオセンサーに基づいて、このシステムは0 km/h～65 km/hの速度範囲において車線マークおよび自車車線と隣の車線の前方車両を認識します。システムが作動している場合、自車両は適切なステアリング介入によりレーンにキープされます。渋滞または車の流れが悪くても、これによりドライバーの負担は著しく軽減され、大きな快適性を得ることができます。アダプティブクルーズコントロールの構成要素およびトラフィックジャムアシストの構成要素は、歩行者または車両との衝突の危険性がある場合、複数レベルの警告および制動介入により停止距離を短縮します。さらに、以前と変わりなく、例えば車線維持、車線変更および制限速度表示などのさらなるアシスタンスシステムをオプションでチョイスできます。

リアビューカメラとサラウンドビューを備えたパークアシスト

ポルシェは3つのレベルのパークアシストシステムによって新型マカンドライバーの日常走行をサポートします。オプションのフロントとリアのパークアシストは、駐車時に視覚情報と警告音でドライバーに知らせます。このシステムは車両のフロントとリアの超音波センサーを使用します。オプションで、駐車アシストにリアカメラを補充することができます。リアビューカメラには、PCM画面にカメラのカラー画像と

ともにダイナミックサポートラインと障害物までの距離が表示され、操車を支援します。サラウンドビューを装備すると、4つの独立したカメラで360°ビューを表示して駐車および操車を援助します。PCM画面のカメラ画像の表示には、さらに鮮明な画像が用いられています。

新しいコンフォートオプション：ヒートッドフロントスクリーンと断熱ガラス

ガラス取付オプションの段階的なプログラムにより、新型マカンの快適性をパーソナルな要望に合わせることができるようになりました。まず、マカンでは、ヒートッドフロントスクリーンをオプションで選択できます。それには特別なフィルムがガラスシートに組み込まれており、目に見える加熱ワイヤーが不要です。

それに加えて、マカンはオプションで積層ガラスからなるさらに進化した防音ガラスおよび断熱ガラスを装備可能です。積層ガラス内部の新しい音響フィルムは3つの本質的な特性を改善します:有害な紫外線はほぼ完全にブロックされ、騒音はさらに最低限に抑えられ、防犯性が向上します。

希望により、防音ガラスおよび断熱ガラスをプライバシーガラスと合わせて利用することができます。別個に利用可能なこの装備オプションでは、Bピラー以後のガラスシートがすべて暗くなっています。この色調により後方側のガラスシートでは可視光を20パーセント以下に(防音ガラスおよび断熱ガラスを一緒に用いた場合は30パーセント以下)、リアガラスシートでは30パーセント以下に低減します。また空間のプライベート性をより高めるために、プライバシーガラスに太陽光から身を守るための後方窓用ブラインドをオプションで付けることができます。